

科目名	観光研究ゼミナール	科目コード	1234	単位数	2
担当者名	池ノ上 真一	開講セメスター	第5セメスター	開講年次	3年次
授業の方法	演習	実務経験	無		

● 授業のねらい

地域遺産は、地域のルーツを明らかにし、シビックプライド・ビレッジプライドの拠り所となり、地域を観光や移住の目的地とする根拠となります。そこで北海道遺産に着目し、住んでよし、訪れてよしの北海道とするために必要なプロジェクトの計画、実施、振り返り、成果検証と課題抽出等を行います。テーマ別にグループ活動とし、地域に関する基礎力を養うと共に、デザイン思考の創造性とチーム活動に必要な力を養うことを目指します。

● 到達目標

- (1)北海道内の具体の地域の現状把握、および課題をロジカルに抽出することが出来ます。
- (2)地域社会とのコミュニケーションと自己表現する力を高めることができますようになります。プロジェクトマネジメントに関する計画策定・実行・振り返り・見直し・コミュニケーション等の力を高めることが出来ます。
- (3)世界における北海道遺産の現状と課題を構造的に理解できます。

● 授業内容

- 1週目 オリエンテーション - 授業の趣旨、実施方法、テーマ別グループ分け -
- 2週目 テーマ別グループによる活動：調査と計画策定
- 3週目 計画エスキス
- 4週目 テーマ別グループによる活動：計画実施
- 5週目 テーマ別グループによる活動：計画実施
- 6週目 テーマ別グループによる活動：計画実施
- 7週目 活動ふりかえりと報告
- 8週目 テーマ別グループによる活動：計画見直しとエスキス
- 9週目 テーマ別グループによる活動：計画実施
- 10週目 テーマ別グループによる活動：計画実施
- 11週目 テーマ別グループによる活動：計画実施
- 12週目 テーマ別グループによる活動：計画実施
- 13週目 活動ふりかえりと報告レポートの作成
- 14週目 最終発表会とディスカッション
- 15週目 最終発表会とディスカッションの成果を踏まえ、各自が自身の優れたところと改善点を整理しレポートの内容に反映させます。
- 16週目 授業で作成したレポートに関わる全体的な講評、ポイントの整理を行います。但し、やむを得ず、15週目までの授業内容を実施できなかった場合は、補講授業を行います。

● 準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

- ・（予習）講義前に、適宜資料（授業内容の概要）をCoursePower上に公開します。予め、内容を熟読してから受講してください。また、授業趣旨を踏まえた任意活動を推奨します。（90分以上）
- ・（復習）授業後に、配布した教材を使用して学習内容を整理してください。また、テーマ別グループ活動の延長となる任意活動を推奨します。（90分以上）

● 成績評価の方法・基準

・成績はレポートおよび発表内容から習熟度を把握し評価します。なお、テーマ別グループ活動への参加状況について積極性や創造性を評価します。さらに、任意活動については、加点評価の対象とします。

● 履修上の留意点

- ・当該授業は、テーマ別グループ活動を中心に行います。したがって、遅刻することなく出席することが必須条件です。また、無断欠席等で注意を受け改善しない者は、不合格となることがあります。
- ・また当該授業は、自主的で創造的な学びが大変重要となります。活動のアイデアはもちろんのこと、各種技法や基礎知識については、各自が日常的、積極的な学びを期待します。また教員もアドバイザーとして、十分に活用できるように円滑なコミュニケーションに努めて下さい。

● 課題に対するフィードバックの方法

・エスキスと発表を中心にして、教員から学生へのフィードバックを行います。また、最終レポートの評価については、学生を含めたディスカッションをとおした相互評価とし、視野を広げ、多様な価値を理解する機会とします。

● テキスト

・必要に応じてオリジナルの教材(プリント)を配布します。また、CoursePower上にオリジナルの資料を適宜公開します。

● 参考書

・臼井彦彦・株式会社富士通総研『「観光」を切り口としたまちおこし 地域ビジネスの進め方』（日刊建設工業新聞社）2,400円＋税

● 更新日付

2022/03/10 02:18